

都議会立憲 東京ビジョン 2024 ver.1.2

～最重点項目 3 × 2 + 3

○予算 × 3

- ・ 子育て支援に関する所得制限撤廃
乳幼児・子ども医療費助成、児童育成手当、受験生チャレンジ支援、私立学校の特別奨学金などなど、たくさんの所得制限の撤廃を求めます。
- ・ 給食無償化・学校教育の無償化
教育は未来そのもの。本来無償であるべきです。東京都議会立憲民主党は、特別支援学校を含む学校給食の無償化、学校教育にかかるさまざまな費用の無償化を求めます。
- ・ 充実の家賃補助で住まいの安心確保
住まいの確保はもっともベーシックな生活保障です。都営住宅は平均約 10～50 倍、一方都内の空き家は 8 1 万戸です。必要とする全ての人への家賃補助制度を求めます。

○条例 × 3

- ・ カスハラ対策条例～働く人の尊厳を守り、カスハラを許さない東京を
暴言や脅し、不当な要求はカスハラです。カスハラは、働く人の尊厳を傷つける人権侵害です。東京からカスハラを許さない社会を実現するため、早期の条例制定を求めます。
- ・ ケアラー支援条例～ケアする人に優しい社会へ
こころや身体の不調など、ケアの必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアするケアラー、特にヤングケアラーに気づき・支える体制をつくる条例を求めます。
- ・ 東京都版選択的夫婦別姓・事実婚～都パートナーシップ条例改正
いろんな家族の形・パートナーシップを認め・支える社会を東京から。性別を問わず利用できるパートナーシップ制度を求めます。

○+重要トピック 3

- ・ 外苑問題～再開発事業の見直しが必要
100 年の樹木を守り育てる、都民理解が得られる計画へ。都民・事業者の知恵を結集して、外苑の杜を未来に遺す努力を続けることを求めます。
- ・ 2024 デフリンピック大会～手話言語、情報コミュニケーション保障
手話言語、デジタル技術を使った情報コミュニケーション保障の実現、街中の音声情報の視覚化。聞こえない人に情報保障する街へと変革し、未来に遺す大会を求めます。
- ・ コロナ検証～未来への伝言。次なる感染症の脅威に万全の備えを
検証なくして対策なし。コロナ禍の教訓、もう繰り返してはならない初動の遅れ、失われた命や損なわれた健康など、しっかり検証し、記録を後世に遺すよう求めます。